

# 京都市会だより

第30号

平成16年(2004年)  
7月15日発行  
発行/京都市会  
編集/市会事務局  
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上  
TEL.075-222-3697  
FAX.075-222-3713

京都市会ホームページ

<http://www.city.kyoto.jp/shikai/>



桂川

「介護予防対策の拡充を求める  
意見書」などを可決  
(2・3面に意見書・決議の内容を掲載)

## 市会議長のあいさつ



京都市会議長  
**田中 セツ子**  
(南区選出 自民党)

市会議長として2年目を迎えることとなり、市民の皆様のご支援に改めて深く感謝申し上げます。

近年、地方分権の推進に伴い、地方議会は更なる機能強化を図るとともに、より市民の皆様が開かれた議会を実現する必要があります。その中で京都市会では、本市の厳しい財政状況を考慮し、16年度においても引き続き議員の報酬を5パーセント削減するとともに、議会の改革をより推進するために、京都市会改革検討小委員会を設置いたしました。

今後とも、より身近な議会を目指してまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 市会副議長就任のあいさつ



京都市会副議長  
**久保 省二**  
(西京区選出 公明党)

この度の5月市会において第79代の市会副議長に就任いたしました。議長の補佐役としての責務の重さに身の引き締まる思いでございます。

不安定な経済情勢や、かつてない少子高齢社会の到来を前に、本市では取り組むべき多くの課題を抱えており、京都市会では市民の皆様の声を市政に反映させるよう努めているところでございます。

より身近で開かれた市会の実現を目指し、田中議長と共に議会の改革に全力で取り組んでまいりますので、今後とも皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

## 5月市会定例会

5月定例会は5月14日から28日までの15日間開かれ、市長提出議案64件、議員提出議案7件を審議しました。

市長提出議案のうち、平成16年度国民健康保険事業特別会計補正予算など3件については、普通予算特別委員会を設置して付託審査のうえ、原案のとおり可決しました。子ども保健医療相談・事故防止センター条例の制定など54件については、それぞれ担当の常任委員会で審査のうえ、すべて原案のとおり可決しました。

また、監査委員の選任など議案7件についても、原案のとおり可決しました。

議員提出議案については、介護予防対策の拡充を求める意見書と小川裕樹議員に対する辞職勧告決議の2件を、原案のとおり可決しました。

また、谷口弘昌副議長の辞職に伴い、副議長の選挙を行った結果、久保省二議員が選ばれました。

今回審議した主な議案の概要は次のとおりです。(結果は4面参照)

平成16年度国民健康保険事業特別会計など3会計補正予算

国民健康保険事業特別会計、老人保健特別会計

及び中央卸売市場第一市場特別会計では、15年度決算において、歳出額に対する歳入額の不足が見込まれるので、その不足見込額を16年度予算から繰り上げて充用するために、必要な経費の補正を行うものです。

なお、補正予算の規模は、123億9千7百万円と

子ども保健医療相談・事故防止センター条例の制定

子どもたちを健やかで安全に育成することができる社会の形成に向けて、子どもの保健医療に関する相談、助言等を行うとともに、子どもの事故防止に関する知識の普及向上を図るための施設を中京区に設置しようとするもので、本年8月に開所予定です。

## 定例会の経過

5月14日	本会議	会期の決定、議席の変更など
5月18日	本会議	市長の提案説明、普通予算特別委員会の設置など
5月18日 20日 27日	普通予算特別委員会	正副委員長互選、付託された補正予算の審査など
5月19日	本会議	代表質問など
5月21日 24日 27日	常任委員会	付託された議案や請願の審査など
5月28日	本会議	副議長の選挙と議案や意見書、決議の議決など